



エントランスロビーでは、成田国際
高校吹奏楽部による発表も

市民交流の新たな拠点が誕生

もりんぴあこうづオープニングイベント

開館を翌日に控えた6月30日、もりんぴあこうづの各施設のお披露目を兼ねたオープニングイベントが盛大に行われました。MORI×MORIホールでは、施設愛称命名者など関係者約120人を集め、開館式典を開催。その後、公津の杜小合唱部の発表やジャズコンサートが行われました。また、ギャラリー MORI×MORIでは、本市出身の画家である篠崎輝夫さんの絵画を中心とした展覧会が開催されました。ほかにも、クイズラリー・紙風船プレゼントなど、多彩な催しが行われました。来場者の1人は「待ちに待った新しい施設を、楽しみながら一足早く見学することができて良かった」と笑顔で話していました。



オープンを記念してテープカット



あっという間にゴミ袋が満杯に

美しい成田を目指して

空港周辺道路美化活動

成田空港に通じる道路をきれいにすることを目的に「空港周辺道路美化活動」が6月25日に行われました。なりた環境ネットワークの会員など329人の参加者は5班に分かれ、国際文化会館を出発。国道295号・408号・51号沿いを歩きながら落ちていたゴミを拾い、合計180キログラムものゴミを集めました。

おかげさまで完売

プレミアム付商品券

市内の取扱店舗で使える「プレミアム付商品券」が6月22日に発売されました。この商品券は、地域経済を活性化しようと成田市商店会連合会が1冊1万円で購入したもので、1万1,500円分の買い物ができます。販売場所となった国際文化会館では、商品券を買い求める人が長蛇の列を作り、この日だけで4,751人が商品券を購入しました。3億4,500万円分の商品券は7月1日に完売しました。



商品券を求めて大勢の人が



お母さんたちの熱き攻防

ボールと声援が飛び交う

PTAバレーボール大会

バレーボールを通じて市内小中学校のPTA会員の親睦を深めようと「PTAバレーボール大会」が6月15日、市体育館で行われました。児童・生徒の母親で結成された20チームが参加。普段とは違った表情を見せるお母さんたちに、観客席の家族や友人からは絶え間ない声援が送られていました。

狙いを定めて

とばしてあそぼう

ストローを使った吹き矢などを作って遊ぶ「とばしてあそぼう」が6月23日に子ども館で行われました。参加したのは親子2組も含む10人。風船の的や段ボールの中を目がけて、自分で作った作品を元気いっぱい飛ばしました。



段ボールの箱を目がけて発射



誰がたくさん倒すかな



竹尖げで万全の準備を



協力して五徳縫い工法に取り組む水防団員

一致団結して地域を守る

水防工法習得訓練

台風などによる風水害を想定して「水防工法習得訓練」が6月22日、大栄消防署で行われました。当日は、水防団員166人が参加。団員たちは3班に分かれ、消防本部の水防工法指導員から説明を受けながら、「竹尖げ」「杭

ごしらえ」などの水防準備作業で、水防工法に必要な道具を作った後、「五徳縫い工法」「月の輪工法」「積み土のう工法」といった実践的な訓練を行い、作業の手順を確認していました。